

# 静岡県月例経済報告

(平成27年9月号)

……平成27年7月を中心とした県内経済のすがた……

No. 473

—静岡県経済産業部—

# 目 次

I	静岡県経済の概況	1
II	静岡県主要経済指標の概況	4
	・ 需要面	4
	・ 生産面	12
	・ 雇用面	15
	・ その他	18
III	静岡県主要産業の動向	22
IV	データからみた県内主要産業	25

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

# I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、平成27年7月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

## 概 況

平成27年7月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、弱めの動きもみられる。

先行きについては、堅調な設備投資などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産での弱めの動きと海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 生産は、弱めの動きがみられる。

## 需 要 面

### ◎個人消費は、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。

大型小売店販売額(7月)は、百貨店、スーパーがいずれも2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(7月)は、乗用車が3か月ぶり、軽自動車が7か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも16か月連続で前年実績を下回った。

### ◎住宅建設は、前年を上回った。

新設住宅着工戸数(7月)は、分譲住宅が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、持家が2か月連続、貸家が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

### ◎公共投資は、前年を上回った。

公共工事請負金額(7月)は、7か月ぶりに前年実績を上回った。

### ◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成27年7月1日)の27年度設備投資計画は、製造業、非製造業ともに増加する計画となっており、全産業でも増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(7月)は、8か月連続で前年実績を下回った。

◎輸出は、持ち直しの動きがみられる。

輸入は、前年を上回った。

輸出総額(7月)は、エアコンが9か月連続、自動車(軽自動車)が3か月連続、二輪自動車が13か月ぶりに前年実績を下回ったものの、原動機、自動車の部分品がいずれも2か月連続、科学光学機器が5か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額(7月)は、紙類及び同製品や原動機が前年実績を上回ったことから、全体でも3か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、955億円の輸出超過となった。

**生産面**

◎生産は、弱めの動きがみられる。

鉱工業生産指数(6月)は、化学工業やはん用・生産用・業務用機械工業などで前年水準を上回ったことから、総合でも12か月ぶりに前年水準を上回った。また、2か月連続で前月を下回った。

また、産業用大口電力消費量(7月)は、12か月連続で前年実績を下回った。

なお、鉱工業在庫指数(6月)は、総合では4か月連続で前年水準を上回った。

**雇用面**

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率(7月)は1.16倍で、前月と同水準であり、18か月連続で1倍を上回った。また、7か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員(7月)は、24か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数(6月)は、4か月ぶりに前年水準を上回った。

**その他**

◎物価は、前年と同水準だった。

消費者物価指数(8月)は、総合で103.7となり、前年と同水準だった。

また、前月比は0.2%上昇した。

◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高(7月)は、前年同月比1.5%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(7月)は、前年同月比14.0%減と前年実績を下回った。

◎企業倒産は、件数、負債総額ともに前年を下回った。

企業倒産(8月)は、件数は18件、負債総額は前年同月比59.5%減と、いずれも前年実績を下回った。

## ◀ 県の取組 ▶

### 【 「三ヶ日みかん」の機能性表示食品の届出を消費者庁が受理 ～生鮮食品では全国初～ 】

平成27年4月からスタートした新しい食品の表示制度「機能性表示食品」として、JAみっかびが消費者庁に提出していた届出が、生鮮食品としては全国で初めて受理されました。平成27年11月に出荷される三ヶ日みかんから、「機能性表示食品」として販売される予定です。

#### 1 届出表示の内容

「本品にはβ-クリプトキサンチンが含まれています。β-クリプトキサンチンは骨代謝のはたらきを助けることにより、骨の健康に役立つことが報告されています」

※機能性表示食品とは、機能性関与成分が健康の維持及び増進に役立つことを表示できる食品で、科学的根拠に基づき、事業者の責任において表示されるものです。

※機能性関与成分であるβ-クリプトキサンチン含量の保証は、農林水産省「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」の研究成果を活用します。

#### 2 機能性表示食品としてのパッケージ



#### 3 問合せ先

静岡県経済産業部 農林業局みかん園芸課 みかん特産班

Tel 054-221-3297 Fax 054-221-1351

## II 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

7 月 = 35,398百万円

\*前年同月比： 2.5%増

(県内3百貨店、142スーパー合計)

<概況>

7月の大型小売店販売額は35,398百万円で、前年同月比2.5%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店(前年同月比4.0%増)、スーパー(同2.1%増)がいずれも2か月ぶりに前年実績を上回った。

商品別では、衣料品(同2.5%増)、家庭用品(同3.5%増)がいずれも2か月ぶり、身の回り品(同13.5%増)、飲食料品(同2.2%増)がいずれも4か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は1.0%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
販売額(百万円)	45,063	37,943	32,103	35,890	34,501	36,199	34,836	35,398
前年同月比(%)	▲1.0	▲0.6	▲0.7	▲13.9	6.3	4.0	▲0.7	2.5
うち百貨店(%)	▲1.3	▲2.5	▲3.7	▲24.4	16.1	5.0	▲0.3	4.0
スーパー(%)	▲0.9	▲0.1	0.0	▲10.5	4.2	3.8	▲0.8	2.1
(参考1)全国前年同月比(%)	0.1	0.0	1.3	▲13.0	8.6	5.3	▲0.3	2.1
うち百貨店(%)	0.6	▲0.4	3.5	▲17.7	13.7	6.3	0.4	3.6
スーパー(%)	▲0.2	0.3	0.2	▲10.1	6.3	4.8	▲0.6	1.2
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲0.6	▲0.8	▲1.4	▲13.6	5.6	2.7	▲2.1	1.0

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
衣料品	▲4.9	▲6.6	▲3.4	▲17.8	8.6	6.2	▲7.1	2.5
うち紳士服・洋品	▲5.1	▲7.5	▲1.3	▲12.8	6.4	7.3	▲7.6	5.1
婦人・子供服・洋品	▲5.4	▲6.3	▲3.4	▲18.5	9.2	5.0	▲6.9	1.4
身の回り品	▲4.1	▲3.5	▲11.6	▲24.0	8.7	2.0	2.6	13.5
飲食料品	0.1	1.9	1.0	▲4.3	4.4	3.5	0.8	2.2
家庭用品	▲8.1	▲8.4	▲9.3	▲27.9	11.5	5.7	▲0.5	3.5
うち家庭用電気機械器具	▲13.1	▲14.8	▲18.9	▲24.7	28.3	23.7	▲7.1	28.1

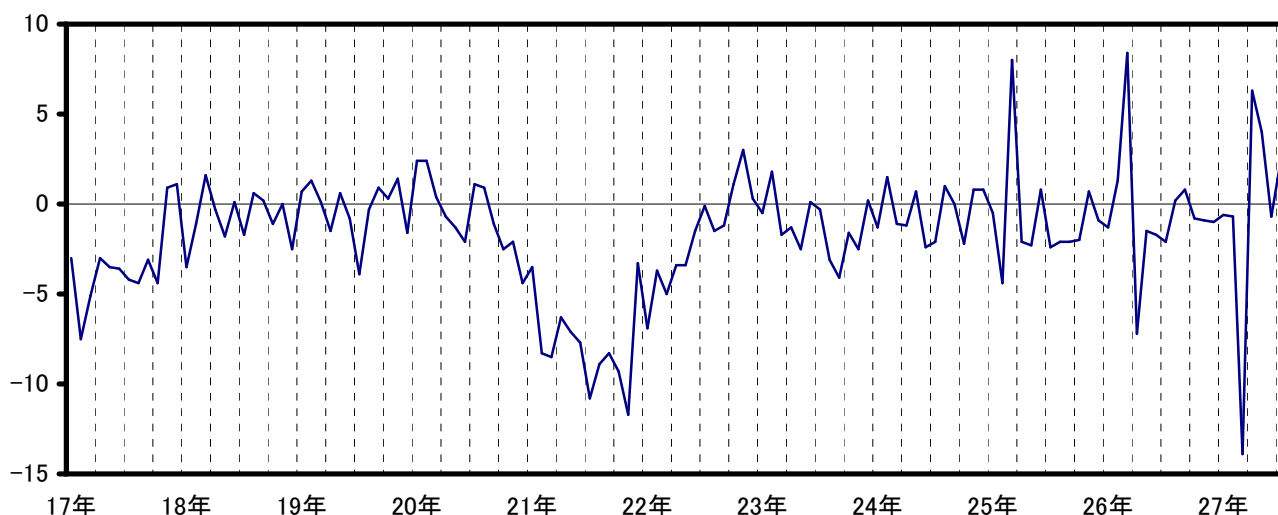
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



## (2) 百貨店販売額

7月 = 6,976百万円

\*前年同月比： 2.8%増

(県内3百貨店販売額)

### <概況>

7月の県内3百貨店の販売額は6,976百万円で、2か月ぶりに前年実績を上回った。  
 品目別にみると、家庭用品(前年同月比7.1%減)が4か月ぶりに前年実績を下回ったものの、衣料品(同1.2%増)、食料品(同0.6%増)がいずれも2か月ぶり、身の回り品(同10.0%増)、雑貨(同13.7%増)がいずれも4か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
販売額(百万円)	9,275	7,119	5,500	7,011	5,876	6,097	6,068	6,976
前年同月比(%)	▲2.9	▲3.9	▲5.2	▲25.6	14.7	3.6	▲1.5	2.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.7	▲2.8	1.1	▲19.7	13.7	6.3	0.4	3.4

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

### <品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

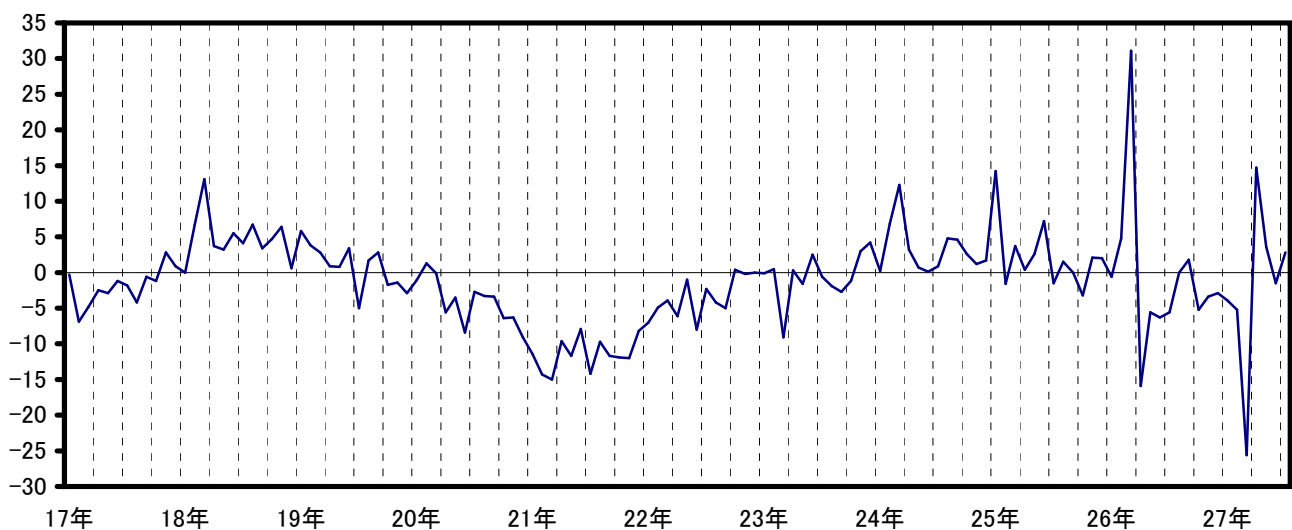
	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
衣料品	▲6.5	▲7.6	▲7.2	▲23.2	11.7	2.8	▲8.6	1.2
うち紳士服・洋品	▲3.7	▲6.4	▲1.6	▲14.5	9.4	4.4	▲7.4	4.7
婦人服・洋品	▲7.1	▲7.6	▲8.7	▲25.7	10.4	1.4	▲9.5	0.3
子供服・洋品	▲12.1	▲6.9	0.2	▲17.6	21.6	1.6	▲13.0	1.0
身の回り品	▲7.5	▲6.1	▲18.2	▲30.7	7.6	0.2	1.0	10.0
家庭用品	▲6.2	▲7.7	▲5.8	▲35.7	47.5	2.1	10.6	▲7.1
食料品	▲2.8	1.1	▲1.1	▲6.8	3.4	1.1	▲3.0	0.6
雑貨	9.6	4.5	▲1.8	▲44.1	47.9	15.2	14.2	13.7
うち美術・宝飾・貴金属	21.0	13.2	▲6.9	▲56.6	71.2	25.2	18.9	18.7

(注)店舗数調整済

### <過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比(%)

<資料>県百貨店協会



### (3) 自動車(新車)新規登録台数

7月 = 14,211台

\*前年同月比： 6.9%減

(乗用車、軽自動車合計)

#### <概況>

7月の自動車(新車)新規登録台数は14,211台(前年同月比 6.9%減)となり、16か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(同 3.2%減)が3か月ぶり、軽自動車(同 11.3%減)が7か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
登録台数(台)	14,156	14,885	18,188	24,066	10,372	11,424	14,719	14,211
前年同月比(%)	▲ 5.4	▲ 21.3	▲ 16.0	▲ 9.3	▲ 14.2	▲ 6.8	▲ 0.3	▲ 6.9
(参考)全国前年同月比(%)	0.3	▲ 20.7	▲ 17.8	▲ 11.9	▲ 10.1	▲ 8.2	▲ 3.8	▲ 9.1

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

#### <車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

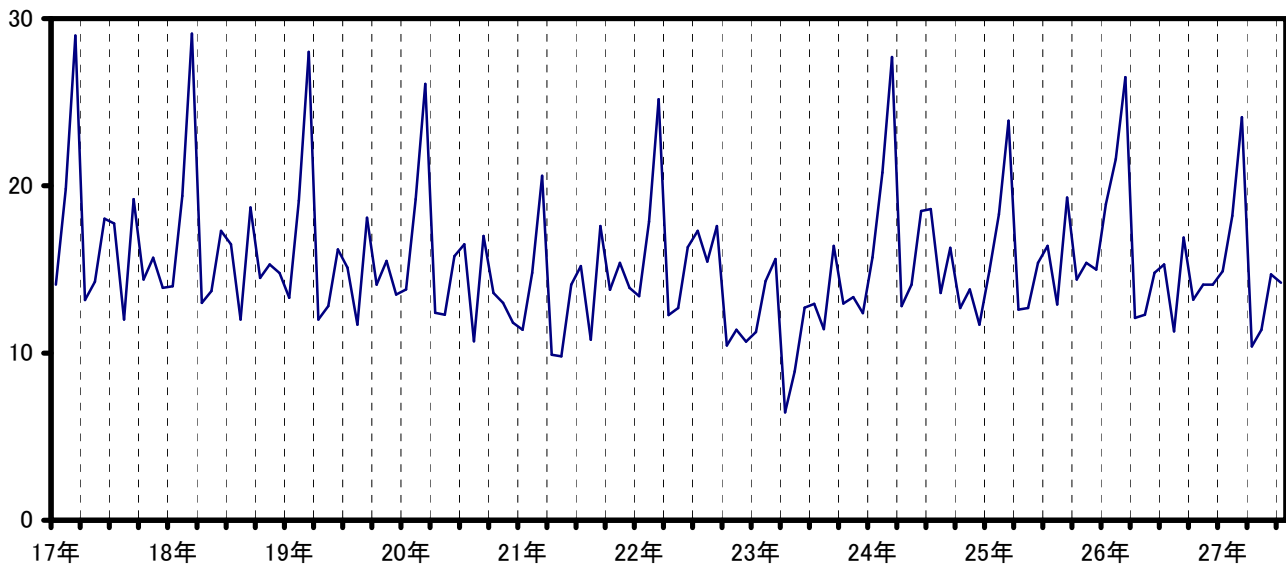
	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全乗用車	▲ 5.4	▲ 21.3	▲ 16.0	▲ 9.3	▲ 14.2	▲ 6.8	▲ 0.3	▲ 6.9
乗用車	▲ 13.8	▲ 26.0	▲ 18.3	▲ 15.2	▲ 0.4	2.3	7.7	▲ 3.2
軽自動車	4.7	▲ 16.1	▲ 13.4	▲ 2.2	▲ 25.4	▲ 15.7	▲ 8.4	▲ 11.3

<資料>県税務課

#### <過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車



## 2 新設住宅着工戸数

7月 = 1,908戸

\*前年同月比： 6.4%増

### <概況>

7月の新設住宅着工戸数は1,908戸で、前年同月比 6.4%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 19.3%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、持家（同 15.9%増）が2か月連続、貸家（同 5.2%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

### <最近の動き>

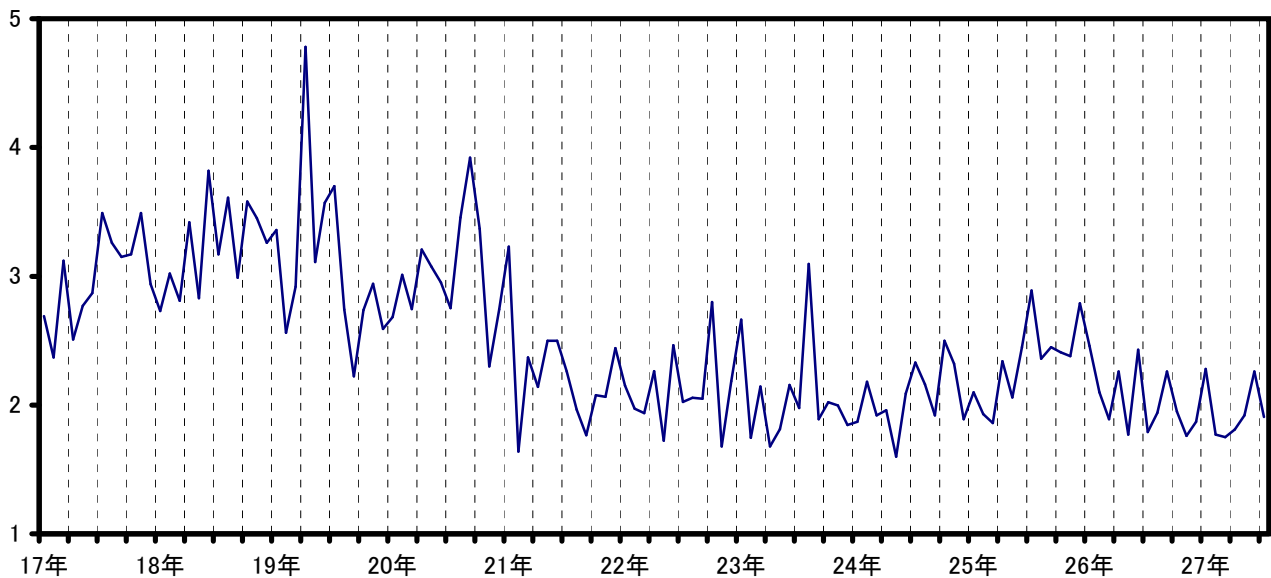
	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
戸数（戸）	1,871	2,278	1,771	1,751	1,805	1,915	2,255	1,908
前年同月比（%）	▲ 33.0	▲ 7.2	▲ 16.0	▲ 7.4	▲ 20.2	7.9	▲ 7.2	6.4
うち持家（%）	▲ 39.7	▲ 26.2	▲ 11.7	6.4	▲ 10.8	▲ 3.2	18.0	15.9
貸家（%）	▲ 24.0	▲ 22.7	▲ 40.6	▲ 20.4	▲ 17.4	9.6	▲ 33.4	5.2
分譲住宅（%）	▲ 26.4	161.9	96.0	▲ 20.7	▲ 48.5	69.1	8.3	▲ 19.3
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 14.7	▲ 13.0	▲ 3.1	0.7	0.4	5.8	16.3	7.4

<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



### 3 公共工事請負金額

7月 = 30,155百万円

\*前年同月比： 1.5%増

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

7月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は30,155百万円で、前年同月比1.5%増となり、7か月ぶりに前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は862件で、前年同月比1.6%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
金額(百万円)	15,445	9,478	8,099	15,112	39,163	23,823	24,042	30,155
前年同月比(%)	1.5	▲0.9	▲25.0	▲9.9	▲1.1	▲31.1	▲21.7	1.5
年度累計前年同月比(%)	▲0.9	▲0.9	▲1.9	▲2.3	▲1.1	▲15.1	▲17.0	▲12.9
件数(件)	749	462	288	183	461	363	596	862
前年同月比(%)	▲7.9	▲12.0	25.8	▲16.8	10.0	▲23.1	▲18.6	▲1.6
年度累計前年同月比(%)	▲5.0	▲5.5	▲4.6	▲4.9	10.0	▲7.5	▲12.5	▲8.7

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

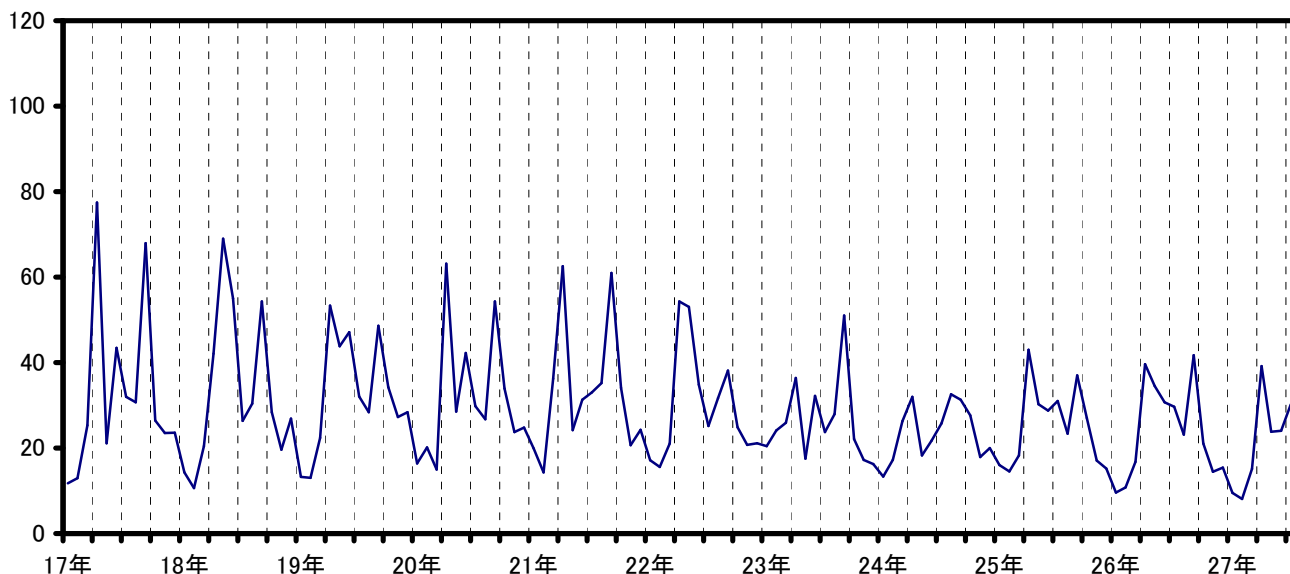
	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
国	343.1	▲2.4	▲57.4	▲2.9	▲23.5	▲47.6	▲6.9	17.6
独立行政法人等	▲78.4	1,452.9	65.6	▲62.8	37.9	▲1.5	148.1	▲47.6
県	▲18.1	▲36.3	3.1	9.4	▲15.7	▲57.2	▲6.8	20.8
市町	▲13.6	5.0	▲3.9	▲35.6	▲3.0	23.4	▲30.2	▲13.2
地方公社	▲25.5	▲44.2	—	—	—	—	▲91.8	—
その他	1,168.2	▲10.0	▲69.7	298.7	83.9	▲49.4	▲63.7	93.9

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



## 4 設備投資

### <概況>

平成26年度の設備投資（実績）は、製造業（前年度比 13.8%増）で増加、非製造業（同 3.2%減）では減少となり、全産業（同 4.6%増）では増加となった。

平成27年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 29.3%増）、非製造業（同 8.4%増）でも増加する計画となっており、全産業（同 18.9%増）でも増加する計画となっている。

7月の着工建築物床面積（非居住用）は97,942㎡で、前年同月比 30.6%減となり、8か月連続で前年実績を下回った。

### <企業短期経済観測調査結果>

（前年度比%）

		26年度 （実績）	27年度 （計画）	前回調査 比修正率	上期	前回調査 比修正率	下期 （計画）	前回調査 比修正率
全 産 業	県	4.6	18.9	5.7	26.0	4.5	13.2	6.8
	全 国	4.3	3.4	8.7	12.9	8.5	▲ 4.0	8.8
製 造 業	県	13.8	29.3	10.8	51.3	9.3	14.1	12.2
	全 国	6.8	12.3	10.6	23.7	9.0	3.3	12.1
非 製 造 業	県	▲ 3.2	8.4	0.1	4.3	▲ 0.9	12.3	1.0
	全 国	3.1	▲ 1.0	7.6	7.6	8.3	▲ 7.6	7.1

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（平成27年6月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（平成27年6月調査）」

### <最近の動き>

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	104,484	71,788	83,413	61,410	105,169	99,993	132,924	97,942
前年同月比（%）	▲ 23.4	▲ 63.8	▲ 8.3	▲ 69.0	▲ 24.6	▲ 21.3	▲ 24.3	▲ 30.6
（参考）全国前年同月比（%）	▲ 17.3	▲ 16.4	9.4	▲ 18.9	2.2	4.1	▲ 11.3	0.9

（注）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

		27年3月	27年6月	27年9月 （予測）
全 産 業		1	3	3
	製 造 業	4	3	5
	非 製 造 業	▲ 2	3	3
（参考） 全 国 ・ 全 産 業		7	7	7

（注）業況判断D. I.：「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（平成27年6月調査）」

## 5 輸出

7月 = 181,818百万円

\*前年同月比： 4.2%増

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

7月の清水税関支署管内の輸出総額は181,818百万円で、前年同月比 4.2%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 23.6%減）が9か月連続、自動車（同 18.3%減）が3か月連続、二輪自動車類（同 11.5%減）が13か月ぶりに前年実績を下回ったものの、原動機（同 27.5%増）、自動車の部分品（同 5.7%増）がいずれも2か月連続、科学光学機器（同 56.7%増）が5か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、米国向け（同 1.3%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 8.7%増）、EU向け（同 11.2%増）がいずれも2か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
輸出総額(百万円)	190,421	166,118	163,172	182,364	172,324	146,515	169,073	181,818
前年同月比(%)	7.7	11.1	▲3.6	0.6	▲4.5	▲8.7	6.9	4.2

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
原動機	13.8	9.8	▲6.9	7.0	▲0.1	▲8.3	18.1	27.5
エアコン	▲19.7	▲3.5	▲19.0	▲22.2	▲23.1	▲33.4	▲19.9	▲23.6
自動車	11.5	9.1	▲13.2	▲0.6	9.1	▲15.9	▲8.6	▲18.3
自動車の部分品	▲0.8	2.7	▲4.3	▲0.3	▲15.3	▲7.5	11.7	5.7
二輪自動車類	10.8	14.1	5.3	9.4	2.3	6.0	21.3	▲11.5
科学光学機器	19.5	37.7	▲9.4	11.0	32.3	43.3	33.1	56.7

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
アジア	4.6	16.6	▲4.3	1.6	1.5	▲2.1	4.4	8.7
米国	32.9	3.0	▲0.8	▲8.8	▲4.8	▲5.8	5.4	▲1.3
EU	▲17.6	12.4	▲6.2	7.6	▲16.2	▲11.5	16.5	11.2

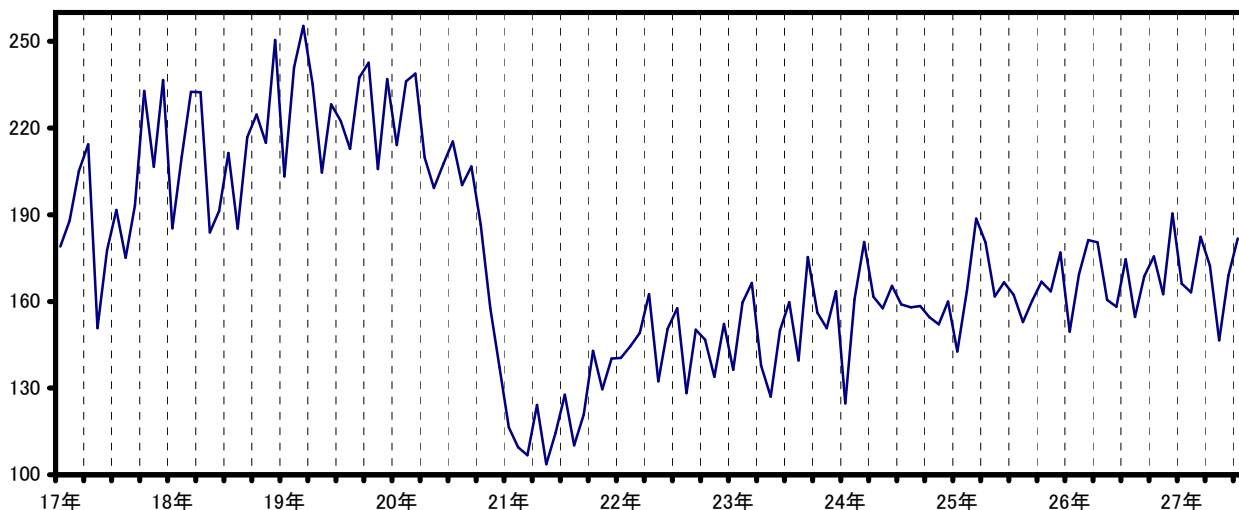
<資料>清水税関支署

(注)管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



## 6 輸入

7月 = 86,342百万円

\*前年同月比： 6.5%増

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

7月の清水税関支署管内の輸入総額は86,342百万円で、前年同月比 6.5%増となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、魚介類（前年同月比 2.7%減）が5か月ぶり、木材（同 17.3%減）が3か月連続、自動車の部分品（同 5.1%減）が6か月ぶりに前年実績を下回ったものの、パルプ（同 5.7%増）が2か月連続、紙類及び同製品（同 19.5%増）が5か月ぶり、原動機（同 9.4%増）が16か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別では、EUから（同 10.0%減）が21か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジアから（同 11.4%増）が3か月ぶり、米国から（同 36.1%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
輸入総額(百万円)	95,992	97,413	85,895	87,219	89,792	79,568	81,814	86,342
前年同月比(%)	20.1	14.4	9.0	0.9	1.2	▲2.4	▲6.4	6.5

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
魚介類	9.3	31.3	▲11.1	3.6	28.4	17.8	3.1	▲2.7
木材	▲2.3	▲5.4	11.5	▲20.4	3.1	▲12.8	▲26.1	▲17.3
パルプ	▲2.9	10.7	17.7	2.8	▲4.4	▲21.1	23.1	5.7
紙類及び同製品	▲21.0	▲17.6	14.2	▲18.6	▲10.1	▲11.8	▲17.1	19.5
原動機	▲48.4	▲54.4	▲37.9	▲59.6	▲47.3	▲67.0	▲68.2	9.4
自動車の部分品	▲3.1	▲10.9	19.0	23.5	83.3	14.8	2.8	▲5.1

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

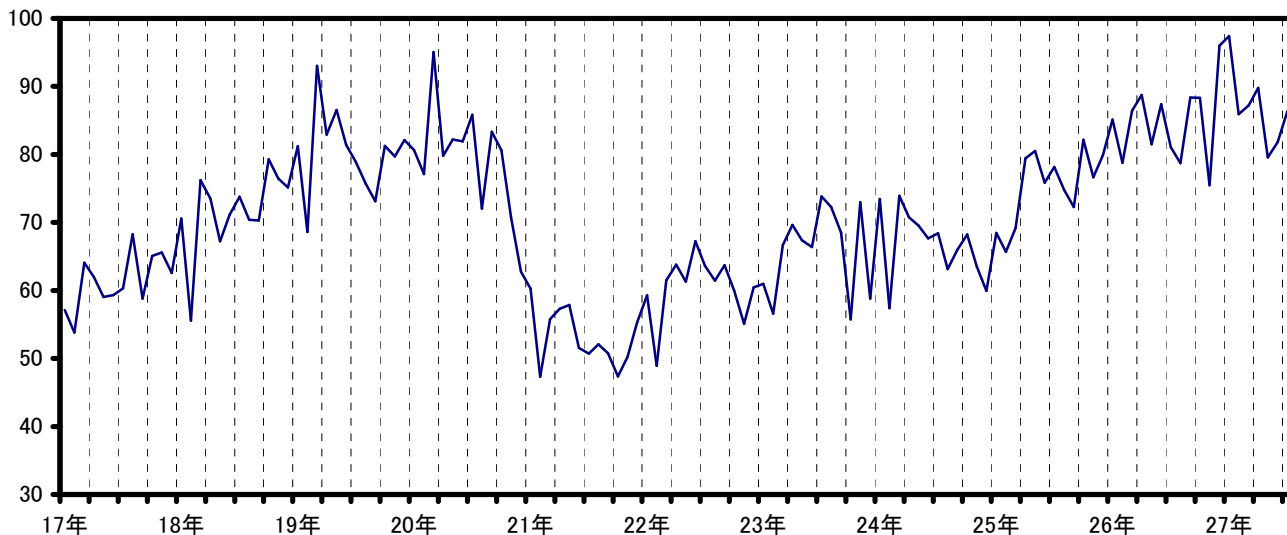
	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
アジア	16.3	▲0.2	23.5	▲18.7	3.2	▲5.7	▲8.2	11.4
米国	31.2	▲17.1	11.1	6.8	11.4	▲1.4	23.1	36.1
EU	2.0	60.8	10.0	22.9	6.9	18.7	3.6	▲10.0

<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



# 生産面

## 1 生産

### (1) 産業用大口電力消費量

7月 = 1,078,696千kWh

\*前年同月比 3.8%減

(東京電力、中部電力合計)

#### <概況>

7月の産業用大口電力消費量は1,078,696千kWhで、前年同月比 3.8%減となり、12か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、食品（前年同月比 3.4%増）が4か月連続で前年実績を上回ったものの、一般機械（同 7.4%減）が12か月連続、電気機械（同 0.7%減）が3か月連続、輸送機械（同 6.0%減）が7か月連続、化学（同 1.0%減）が4か月連続、パルプ・紙・紙加工品（同 11.3%減）が9か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
消費量(千kWh)	967,630	939,323	929,943	1,009,368	960,359	931,767	1,012,146	1,078,696
前年同月比(%)	▲ 1.4	▲ 3.3	▲ 3.4	▲ 1.7	▲ 2.8	▲ 5.7	▲ 4.0	▲ 3.8
全国10社前年同月比(%)	▲ 0.6	▲ 1.8	▲ 2.6	▲ 2.3	▲ 2.0	▲ 3.3	▲ 2.8	▲ 1.7

\*産業用大口電力消費量=契約電力 500kW以上

<資料>東京電力、中部電力、電気事業連合会

#### <県内産業別大口電力消費量前年同月比の推移>

(単位：%)

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
一般機械工業	▲ 3.3	▲ 3.7	▲ 4.3	▲ 3.7	▲ 4.7	▲ 3.0	▲ 5.8	▲ 7.4
電気機械工業	1.0	▲ 0.3	▲ 0.9	▲ 1.1	3.1	▲ 2.6	▲ 0.8	▲ 0.7
輸送機械工業	0.0	▲ 2.5	▲ 1.9	▲ 0.1	▲ 1.9	▲ 7.8	▲ 5.2	▲ 6.0
化学工業	▲ 1.2	▲ 0.7	▲ 0.7	5.1	▲ 2.8	▲ 12.2	▲ 4.8	▲ 1.0
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 5.3	▲ 14.4	▲ 12.9	▲ 9.6	▲ 8.6	▲ 10.1	▲ 11.3	▲ 11.3
食品工業	0.4	0.3	▲ 2.5	▲ 1.8	0.7	0.3	0.9	3.4

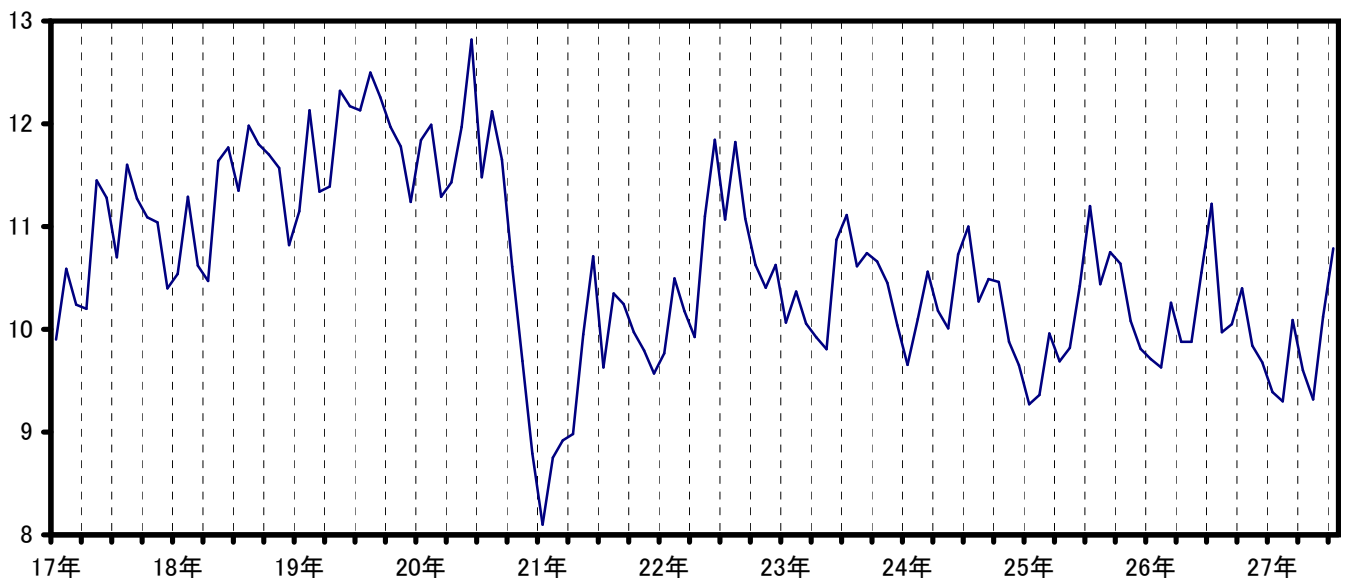
\*産業用大口電力消費量=契約電力 500kW以上

<資料>東京電力、中部電力

#### <過去10年間の推移>

産業用大口電力消費量(億kWh)

<資料>東京電力、中部電力



## (2) 鋳工業生産指数

6月 = 92.0

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 1.9%減

\*前年同月比(原指数) : 0.4%増

### <概況>

6月の鋳工業生産指数(総合)は92.0(季節調整済指数)で、前月比1.9%減となり、2か月連続で前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は0.4%増と12か月ぶりに前年水準を上回った。

業種別にみると、輸送機械(前年同月比10.5%増)が4か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同9.8%増)、電気機械(同2.4%増)がいずれも2か月ぶり、化学(同11.1%増)が3か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同0.3%増)が11か月ぶり、食料品・たばこ(同8.3%増)が2か月連続で前年水準を上回った。

### <最近の動き>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	90.5	93.2	97.4	98.3	98.3	99.6	93.8	92.0
前月比(%)	▲2.9	3.0	4.5	0.9	0.0	1.3	▲5.8	▲1.9
前年同月比(%)	▲6.8	▲2.8	▲7.6	▲1.9	▲2.0	▲2.4	▲4.2	0.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲3.8	0.3	▲2.6	▲2.6	▲1.2	▲0.1	▲4.0	2.0

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

### <県内業種別鋳工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲7.3	10.9	2.5	16.8	2.1	7.9	▲6.0	9.8
電気機械工業	▲9.7	▲3.7	▲10.4	▲16.7	▲10.8	2.3	▲4.2	2.4
輸送機械工業	▲7.7	▲4.0	▲9.0	0.7	▲2.5	▲4.6	▲16.0	▲10.5
化学工業	▲1.3	8.4	▲10.7	2.8	5.9	▲2.1	▲5.2	11.1
パルプ・紙・紙加工品工業	▲2.7	▲4.9	▲6.0	▲3.7	▲2.0	▲3.4	▲8.2	0.3
食料品・たばこ工業	▲9.5	▲13.1	▲8.7	▲7.9	▲5.4	▲7.9	23.2	8.3

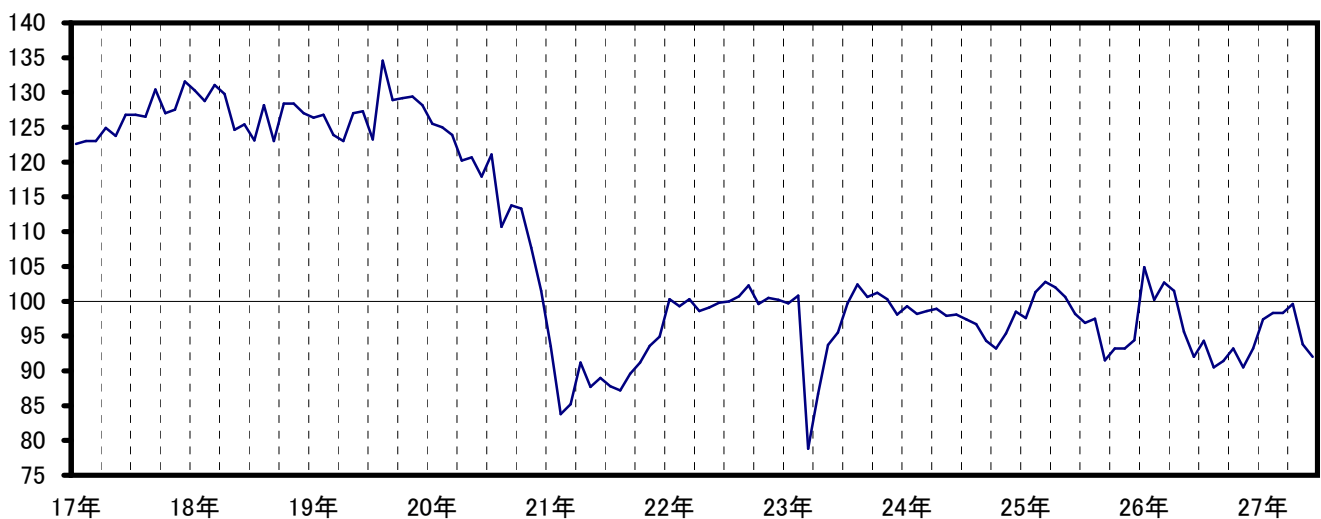
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

### <過去10年間の推移>

鋳工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



### (3) 鉱工業在庫指数

6 月 = 118.7

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\* 前月比(季節調整済指数) : 6.5%増

\* 前年同月比(原指数) : 4.8%増

#### <概況>

6月の鉱工業在庫指数(総合)は118.7(季節調整済指数)で、前月比は6.5%増と2か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は4.8%増と4か月連続で前年水準を上回った。なお、在庫動向を在庫循環図で見ると、今月は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比14.3%減)が9か月連続、化学(同6.8%減)が2か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同29.6%増)が18か月連続、輸送機械(同25.9%増)が5か月連続、食料品・たばこ(同5.4%増)が4か月連続で前年水準を上回った。

#### <最近の動き>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	102.9	101.3	100.4	102.4	110.1	111.9	111.5	118.7
前月比(%)	▲0.8	▲1.6	▲0.9	2.0	7.5	1.6	▲0.4	6.5
前年同月比(%)	0.9	▲1.0	▲6.6	▲1.2	3.7	7.8	2.4	4.8
(参考)全国前年同月比(%)	6.4	6.1	5.7	7.3	6.1	6.3	3.9	3.9

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲2.6	▲1.6	▲12.5	▲13.2	▲12.2	▲13.2	▲18.2	▲14.3
電気機械工業	29.6	34.6	21.2	22.5	28.2	32.3	29.8	29.6
輸送機械工業	▲3.2	▲27.4	▲22.6	35.1	17.2	82.5	20.7	25.9
化学工業	2.4	▲1.3	▲9.4	▲6.9	1.8	4.2	▲6.8	▲6.8
パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.7	▲2.1	▲1.1	4.2	11.7	7.8	1.8	0.0
食料品・たばこ工業	2.4	▲2.6	▲8.4	▲1.4	4.8	11.0	7.3	5.4

(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課





# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

**7月 = 1.16倍**

\*前月比（季節調整値）：同水準

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

#### <概況>

7月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.16倍となり、前月と同水準だった。また、7か月連続で全国値を下回った。

新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比2.3%減）は2か月ぶりに前年実績を下回った。

これを産業別にみると、建設業（同7.1%増）、製造業（同10.5%増）、情報通信業（同9.8%増）、卸売業・小売業（同1.4%増）、サービス業（他に分類されないもの）（同7.5%増）で前年実績を上回ったものの、運輸業・郵便業（同3.2%減）、医療・福祉（同16.6%減）で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

（単位：倍）

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
県	1.14	1.13	1.13	1.12	1.13	1.15	1.16	1.16
全 国	1.14	1.14	1.15	1.15	1.17	1.19	1.19	1.21

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
建設業	▲ 2.7	0.9	1.4	11.1	▲ 4.4	▲ 5.2	15.5	7.1
製造業	11.4	▲ 1.5	9.3	1.7	▲ 0.3	▲ 6.5	▲ 2.7	10.5
情報通信業	87.2	32.2	29.3	▲ 4.4	34.2	▲ 9.4	▲ 18.1	9.8
運輸業・郵便業	9.3	▲ 1.1	▲ 7.6	17.8	0.3	▲ 17.4	1.3	▲ 3.2
卸売業・小売業	26.7	▲ 37.1	5.4	6.8	▲ 22.3	11.5	33.9	1.4
医療・福祉	24.6	13.5	2.0	6.1	▲ 8.4	9.9	0.8	▲ 16.6
サービス業（他に分類されないもの）	8.2	34.1	12.5	19.1	▲ 9.9	▲ 17.3	16.1	7.5
合 計	13.6	4.7	0.6	6.5	▲ 5.2	▲ 3.3	5.7	▲ 2.3

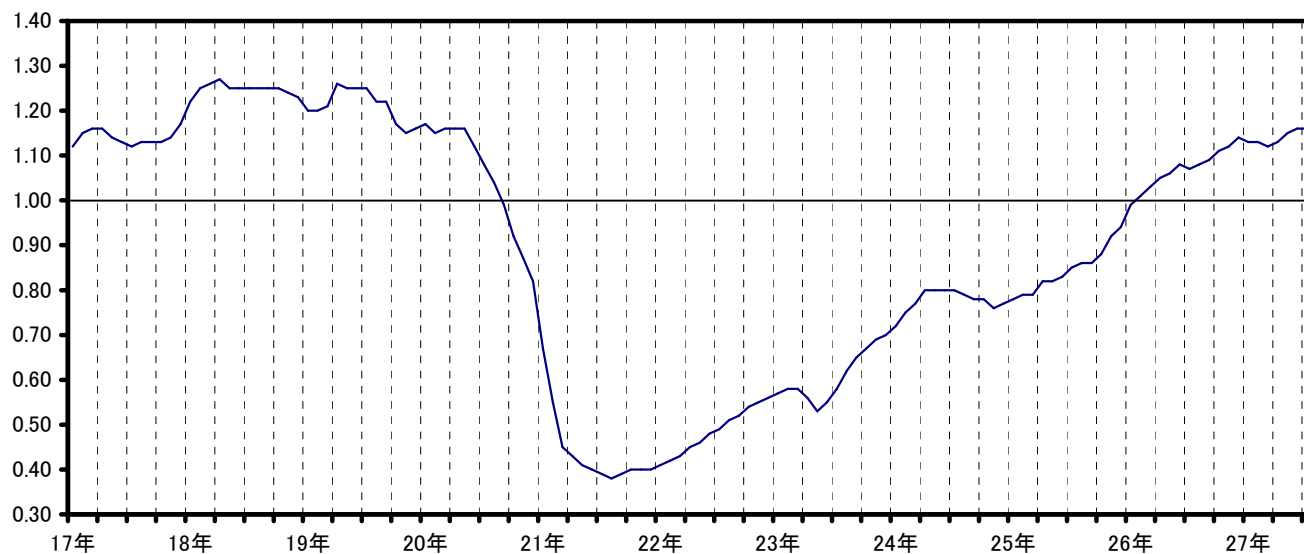
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

7月 = 14,967人

\*前月比: 2.8%増

\*前年同月比: 5.4%減

<概況>

7月の雇用保険受給者実人員は14,967人で、前月比は2.8%増と3か月連続で前月を上回った。また、前年同月比は5.4%減と24か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は3.3%で、前月から0.1ポイント改善した。

静岡県(平成27年4~6月)の完全失業率は2.7%で、前期(27年1~3月)から0.2ポイント悪化した。

<最近の動き>

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
実人員(人)	13,847	13,925	13,190	12,934	12,750	13,771	14,561	14,967
前月比(%)	▲2.2	0.6	▲5.3	▲1.9	▲1.4	8.0	5.7	2.8
前年同月比(%)	▲6.7	▲7.0	▲5.3	▲2.7	▲6.4	▲8.7	▲4.7	▲5.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲8.2	▲9.5	▲7.5	▲5.3	▲6.5	▲12.6	▲5.8	▲8.2

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
完全失業率(全国)(%)	3.4	3.6	3.5	3.4	3.3	3.3	3.4	3.3

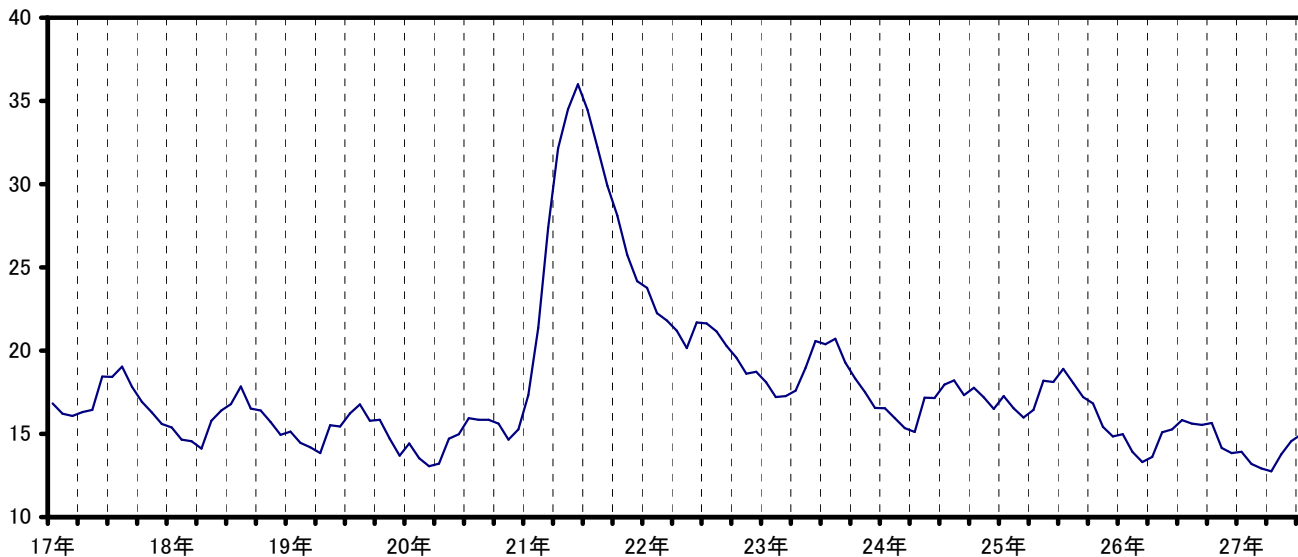
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



### (3) 所定外労働時間指数

6 月 = 106.1

\* 前月比(季節調整済指数) : 4.0%増

(平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \* 前年同月比(原指数) : 0.3%増

#### <概況>

6月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は106.1(季節調整済指数)で、前月比4.0%増となった。また、前年同月比(原指数)は0.3%増となり、4か月ぶりに前年水準を上回った。

業種別にみると、卸売業・小売業(前年同月比9.7%減)が5か月連続、医療・福祉(同4.3%減)が4か月連続、その他サービス業(同24.0%減)が39か月連続で前年水準を下回ったものの、建設業(同2.1%増)が2か月ぶり、製造業(同3.0%増)が2か月連続、情報通信業(同41.1%増)が3か月連続、運輸・郵便業(同10.8%増)が3か月ぶりに前年水準を上回った。

#### <最近の動き>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	107.4	110.7	111.9	113.3	111.6	107.4	102.0	106.1
前月比(%)	0.1	3.1	1.1	1.3	▲1.5	▲3.8	▲5.0	4.0
前年同月比(%)	▲0.7	2.9	3.7	3.4	▲1.7	▲1.1	▲1.8	0.3
(参考)全国前年同月比(%)	0.5	1.3	0.6	0.5	▲1.9	▲1.2	▲1.2	0.3

\*平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
建設業	2.3	▲1.0	10.4	15.0	38.6	50.3	▲18.0	2.1
製造業	1.4	3.2	5.0	7.2	1.7	▲2.4	1.5	3.0
情報通信業	▲41.6	▲27.4	▲36.5	20.2	▲2.1	46.6	1.4	41.1
運輸業・郵便業	15.2	3.4	2.0	2.2	4.5	▲2.4	▲4.4	10.8
卸売業・小売業	1.4	▲3.7	8.0	▲1.6	▲20.1	▲19.4	▲13.0	▲9.7
医療・福祉	2.4	11.0	1.8	18.4	▲3.1	▲1.3	▲1.1	▲4.3
その他のサービス業	▲27.8	▲13.8	▲15.7	▲23.7	▲28.4	▲8.7	▲5.4	▲24.0
調査産業計	▲0.7	2.9	3.7	3.4	▲1.7	▲1.1	▲1.8	0.3

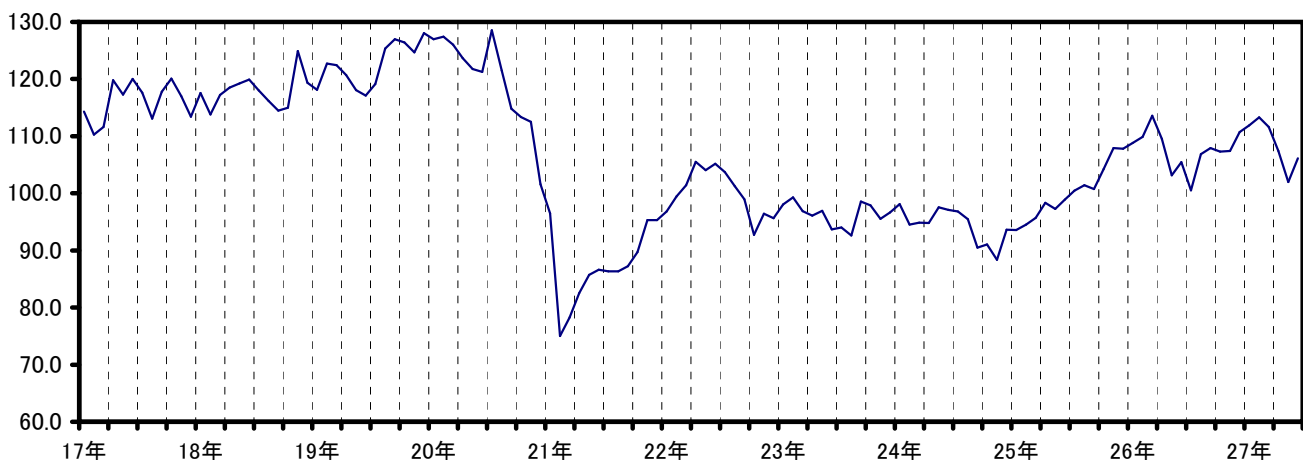
\*平成22年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### (1) 国内企業物価指数

8 月 = 102.7

\*前 月 比: 0.6%下落

\*前年同月比: 3.6%下落

(平成22年=100)

<概 況>

8月の国内企業物価指数は102.7となり、前月比は0.6%の下落となった。また、前年同月比は3.6%の下落となった。

<最近の動き>

	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
国内企業物価指数	103.3	103.2	103.5	103.6	103.8	103.6	103.4	102.7
前 月 比 (%)	▲ 1.3	▲ 0.1	0.3	0.1	0.2	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.6
前年同月比 (%)	0.3	0.4	0.7	▲ 2.1	▲ 2.2	▲ 2.4	▲ 3.1	▲ 3.6

\*平成22年=100

<資料>日本銀行

#### (2) 消費者物価指数(総合)

8 月 = 103.7

\*前 月 比: 0.2%上昇

\*前年同月比: 同水準

(平成22年=100)

<概 況>

8月の消費者物価指数(総合)は103.7となり、前月比は0.2%の上昇となった。また、前年同月比は同水準となった。

<最近の動き>

	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
消費者物価指数	102.9	102.8	103.2	103.7	104.0	103.8	103.5	103.7
前 月 比 (%)	0.0	▲ 0.1	0.4	0.5	0.3	▲ 0.2	▲ 0.3	0.2
前年同月比 (%)	2.3	2.2	2.4	0.7	0.5	0.3	▲ 0.2	0.0

\*平成22年=100

<資料>県統計調査課

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

7 月 = 132,387億円

\*前 月 比: 0.2%減

\*前年同月比: 1.5%増

(銀行、信用金庫)

<概 況>

7月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は132,387億円で、前月比は0.2%減、前年同月比は1.5%増となった。

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
貸出残高(億円)	133,572	132,402	132,274	134,686	132,750	132,694	132,695	132,387
前 月 比 (%)	1.4	▲ 0.9	▲ 0.1	1.8	▲ 1.4	0.0	0.0	▲ 0.2
前年同月比 (%)	3.2	3.4	3.2	2.6	2.8	2.6	1.9	1.5

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

7 月 = 2.159%

\*前 月 差: 0.006ポイント増

\*前年同月差: 0.067ポイント増

(県内地銀4行総平均)

<概 況>

7月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.159%で、前月から0.006ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.067ポイントのプラスとなった。

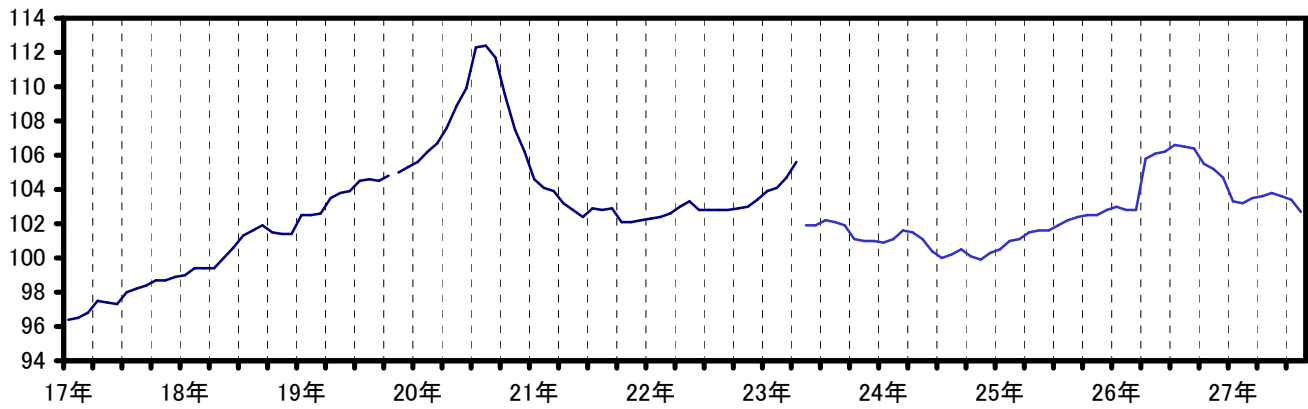
	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
貸出約定金利(%)	2.118	2.131	2.142	2.124	2.137	2.137	2.153	2.159
前月差(ポイント)	▲ 0.008	0.013	0.011	▲ 0.018	0.013	0.000	0.016	0.006
前年同月差(ポイント)	0.048	0.021	0.036	0.044	0.039	0.044	0.077	0.067

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

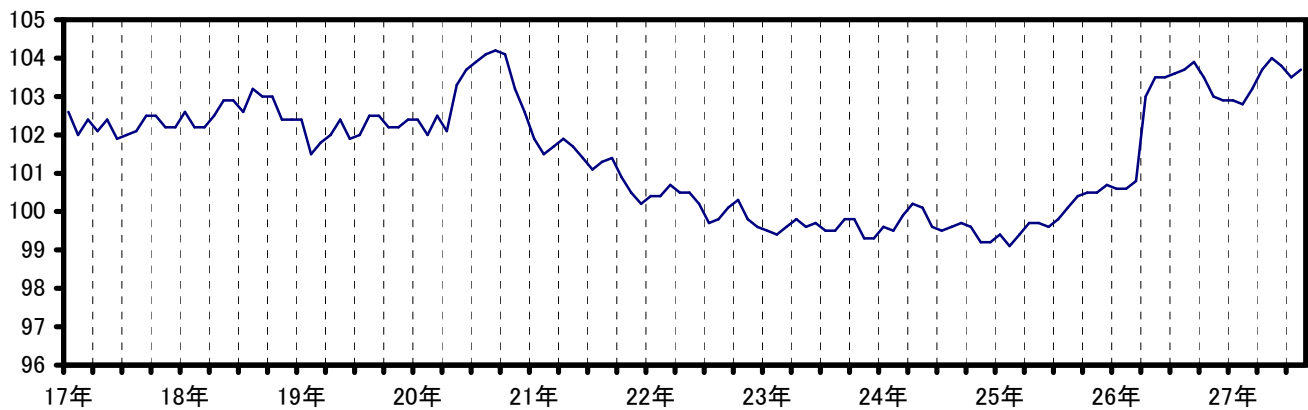
国内企業物価指数(平成22年=100)

<資料>日本銀行



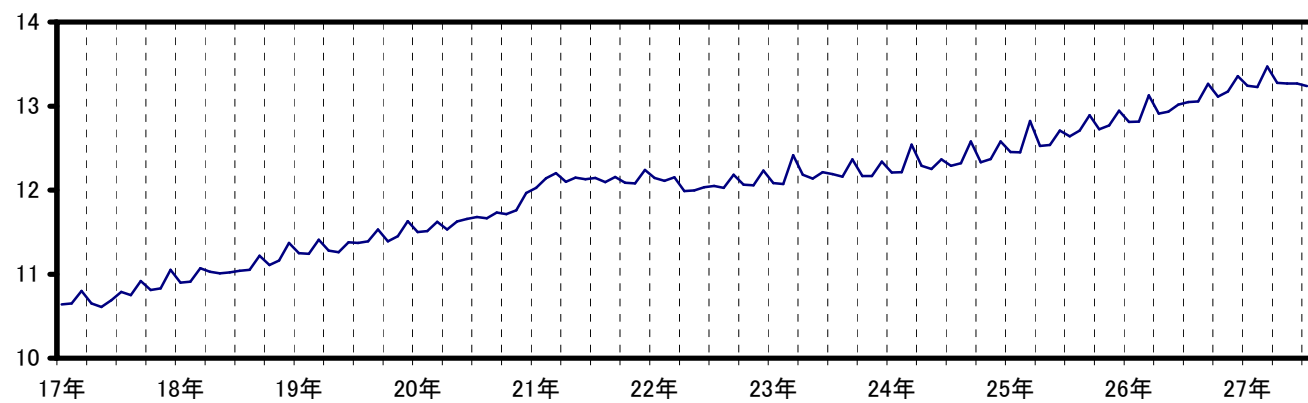
消費者物価指数(平成22年=100)

<資料>県統計調査課



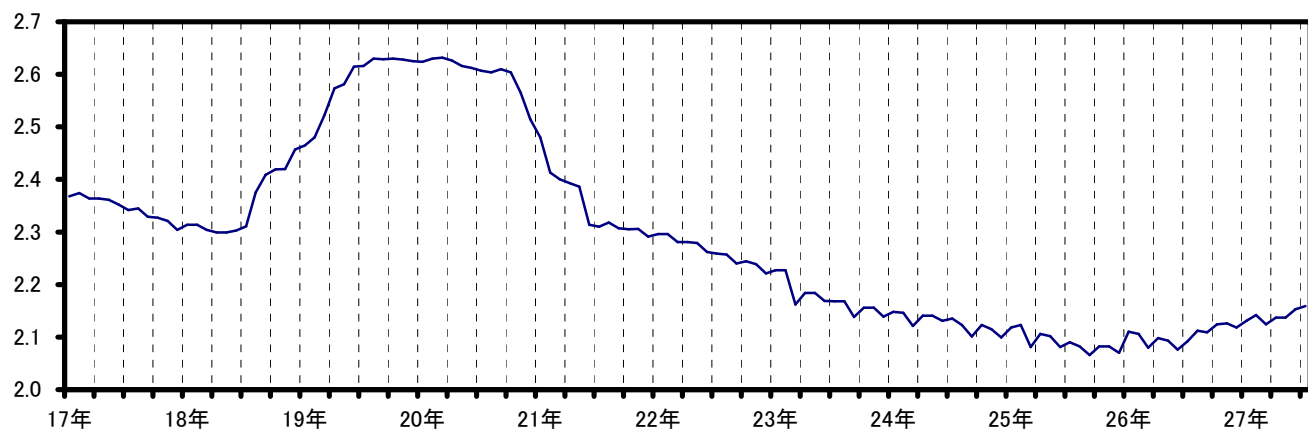
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****7月 = 22,004百万円**

\*前年同月比： 14.0%減

## &lt;概況&gt;

7月の保証承諾は、金額が22,004百万円（前年同月比 14.0%減）と33か月連続で前年実績を下回り、件数は2,635件（同 13.5%減）と4か月連続で前年実績を下回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
保証金額（百万円）	30,756	18,715	21,165	30,874	16,893	17,308	23,995	22,004
前年同月比（%）	▲ 8.7	▲ 2.7	▲ 2.4	▲ 7.6	▲ 1.3	▲ 22.6	▲ 5.8	▲ 14.0
保証件数（件）	3,173	1,941	2,340	3,215	1,857	1,956	2,639	2,365
前年同月比（%）	▲ 6.0	▲ 8.8	▲ 3.0	0.4	▲ 4.1	▲ 16.7	▲ 2.6	▲ 13.5

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****8月 = 123.23円/ドル**

\*前月差： 同水準

（東京・銀行間直物中心・平均）

\*前年同月差： 20.27円安

## &lt;概況&gt;

8月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は123.23円で、前月と同水準となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
平均相場（円）	118.24	118.57	120.39	119.55	120.74	123.75	123.23	123.23
前月差（円）	▲ 1.16	0.33	1.82	▲ 0.84	1.19	3.01	▲ 0.52	0.00
前年同月差（円）	14.30	16.44	18.12	16.99	18.95	21.70	21.51	20.27

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****8月 = 18件**

\*前年同月比： 28.0%減

## &lt;概況&gt;

8月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は18件で前年実績を下回り、負債総額は1,899百万円で前年実績を下回った。

原因別にみると、既往のシワ寄せ、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が16件と全体の88.9%を占め、213か月連続して50%以上となっている。

## &lt;最近の動き&gt;

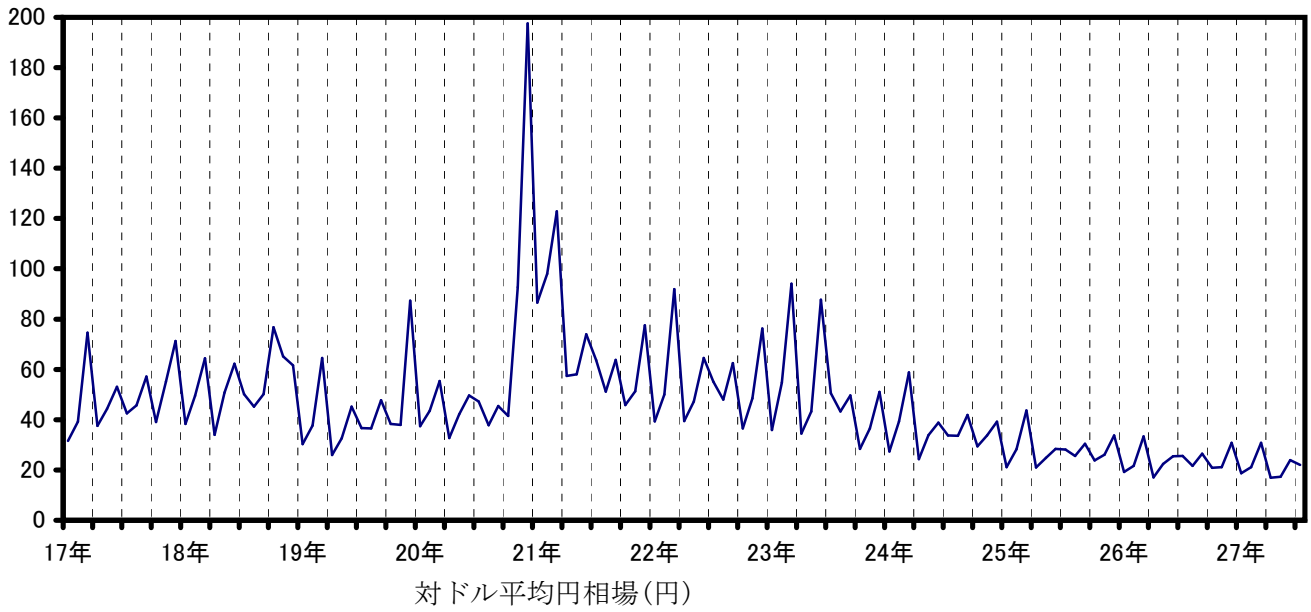
	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
倒産件数（件）	25	18	23	25	21	21	23	18
前年同月比（%）	8.6	▲ 30.7	▲ 14.8	8.6	10.5	▲ 32.2	▲ 17.8	▲ 28.0
うち不況型倒産件数（件）	20	13	21	20	13	16	19	16
負債総額（百万円）	6,396	1,965	2,983	4,007	2,878	8,601	3,985	1,899
前年同月比（%）	92.7	▲ 52.2	▲ 21.0	43.5	▲ 6.7	112.0	▲ 5.2	▲ 59.5

&lt;資料&gt;（株）東京商工リサーチ静岡支社

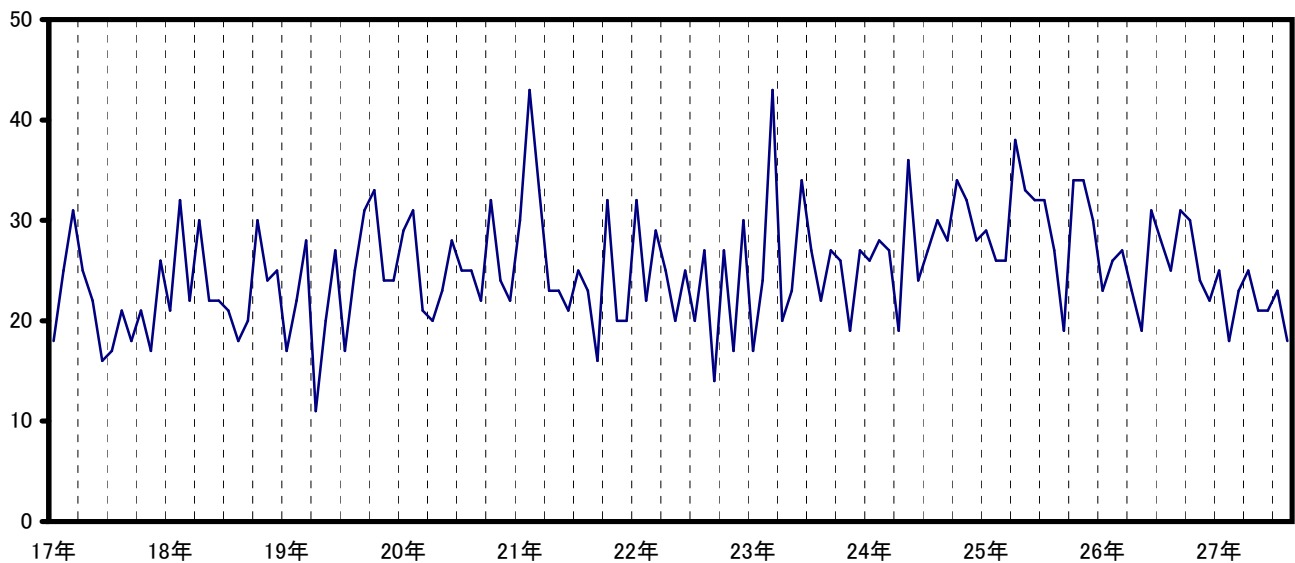
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



### Ⅲ 平成27年7月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車 二輪車部品	<p>7月の国内二輪車生産台数は、40,795台（前年同月比18.3%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは30,878台（同 2.7%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回ったが、車種別では、原付第二種（51～125cc以下）は7,849台（同 8.5%増）、軽二輪車（126～250cc以下）は4,483台（同 9.1%増）と好調であった。</p> <p>輸出向けも28,050台（同23.4%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。地域別では、南米向けは1,442台（同43.1%増）と好調であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車 自動車部品	<p>7月の自動車国内生産台数は841,812台（前年同月比 5.9%減）となり、13か月連続で前年実績を下回った。また、輸出は415,735台（同 0.4%増）となり、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車、トラックとも前年実績を下回り、全体でも13か月連続で前年実績を下回っている。</p> <p>輸出は、欧州向けが11か月連続で前年実績を下回ったものの、北米向けが5か月連続で前年実績を上回ったことから、全体では2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>7月の冷蔵庫の国内出荷額は461億9,600万円（前年同月比 7.1%増）、また、国内出荷台数は423千台（同 4.0%増）で、ともに3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>7月のエアコンの国内出荷台数は、前半の天候不順等の影響もあり、家庭向けは1,371千台（同 3.7%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。業務用も、83千台（同11.5%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>6月の携帯電話と公衆用 P H S を合わせた移動電話の国内出荷台数は、2,630千台（同15.7%増）と3か月ぶりに前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、夏モデル発売が本格化したことを受け、1,753千台（同56.0%増）となり、単月のスマートフォン比率は66.7%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用 機械	<p>7月の工作機械の受注総額は、1,299億3,900万円（前年同月比 1.7%増）と、22か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は700億9,600万円（同17.6%減）で、前年実績を下回った。特に、アジア向けが303億4,100万円（同32.9%減）と、前年を大きく下回った。</p> <p>また、内需は598億4,300万円（同39.9%増）と前年実績を上回り、特に、自動車業界向けが202億2,800万円（同49.6%増）と好調であった。</p> <p>一方、県内中小企業からは、引き合い件数はあるものの、中国の景況不安等の影響から商談成立が先延ばし傾向にあり、夏場から秋口の売上げ低迷が鮮明になってきているとの声も聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>



業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>7月の県内楽器メーカーの販売金額は、58億6,700万円（前年同月比 8.5%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが37億6,800万円（同 3.0%減）で、国内向けが20億9,800万円（同16.9%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,379台（同 6.1%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが2,149台（同 7.7%減）、グランドピアノが1,230台（同 3.1%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,492台（同 6.8%減）、国内向けが1,235台（同 1.4%増）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>7月の紙・板紙の国内出荷高は、2,128千ト（前年同月比 0.3%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。内訳は、紙は1,149千ト（同 0.6%減）で、16か月連続で前年実績を下回り、板紙は979千ト（同 1.3%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、628千ト（同 0.8%増）と16か月ぶりに前年実績を上回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、143千ト（同 3.5%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会</p>
缶詰・飲料	<p>7月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,006千箱（前年同月比 4.0%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は757千箱（同 5.5%増）と6か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶も568千箱（同 6.0%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は249千箱（同 0.1%減）と、前月のプラスから再びマイナスに転じ、前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが8,637千箱（同 3.5%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>7月の広幅織物の県内生産は、1,149千㎡（前年同月比 1.7%減）であった。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,093千㎡（同 0.8%増）であり、別珍・コールテンの生産は、56千㎡（同34.0%減）であった。</p> <p>小幅織物の県内生産は、36千㎡（同 8.9%減）であった。</p> <p>産地では、引き続き、生産量が減少傾向にある。先月に引き続き、7月も静岡県産品として県が認定した「ふじのくにシャツ」の販売が県内百貨店を中心に行なわれ、また、浜松市の中心部で、「注染・ゆかた・和装展」が開催されるなど、地産地消の活動が続けられている。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>

業 種	産 業 動 向
家 具	<p>7月の全国百貨店での家具販売額は、62億1,700万円（前年同月比11.3%減）、また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、505億5,500万円（同2.6%増）であった。</p> <p>こうした中、県内業界では、全国有数の家具産地である福岡県大川市で開催された家具見本市に出展するなど、販路拡大に取り組んでいる。</p> <p>＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、地域産業課</p>
小 売 業	<p>7月の県内百貨店の売上高は、前年6月スタートだったクリアランスセールが7月に後ずれした影響もあり、2ヶ月ぶりに前年を上回った。</p> <p>ある百貨店からは、訪日外国人の売上高が対前年比で大きく伸びたが、百貨店全体の売上げに寄与するほどには至っていないという声や、プレミアム付商品券が多く利用され、効果があるとの声が聞かれた。</p> <p>ある食品スーパーからは、7月上旬は、天候不良のために夏物商材が不調となったが、中旬以降、天候が回復し気温も上昇したことなどから、全体として売上げは対前年比でプラスとなったという声が聞かれた。</p> <p>地域商業の活性化を図るために県が登録し、支援する「ふじのくに魅力ある個店」約400店において、7月より夏の電力使用ピーク時には、各家庭のエアコンを切って来店していただき、社会全他の節電につなげる「ふじのくに節電避暑店キャンペーン」が実施され、冷水・冷茶サービスなど各店独自の工夫で誘客促進を図った。</p> <p>＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>7月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約30万人で、前年同月比16.6%の増となった。駿河中東遠地域を中心に入込客数が増加する結果となった。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両は、約71万台と前年同月に対して横ばいとなった。</p> <p>＜資料＞静岡県観光政策課</p>

## = IVデータからみた県内主要産業 =

### <二輪車>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
完成車生産台数(台)	22,094	21,785	19,802	21,173	21,577	15,496	13,721	13,417	17,148
前年同月比(%)	9.6	18.2	12.4	2.7	6.4	17.1	▲5.0	▲2.6	▲12.3
KD輸出額(百万円)	1,151	1,194	1,127	1,010	1,030	1,020	937	822	913
前年同月比(%)	▲6.4	18.2	8.0	4.7	17.5	▲16.7	▲11.3	▲32.0	▲17.8

### <楽器>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
生産総額(百万円)	3,429	3,467	3,384	3,419	3,662	3,946	3,720	4,264	4,255
前年同月比(%)	▲12.1	▲5.0	▲4.5	▲3.0	17.1	▲12.5	▲14.8	▲9.3	▲10.6

### <缶詰>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
食缶生産高(千ケース)	859	755	790	889	930	925	893	1,059	1,008
前年同月比(%)	▲7.1	▲6.1	▲3.8	15.5	▲4.8	▲3.7	▲2.8	16.9	3.9
うち水産缶詰(%)	▲2.2	▲5.9	0.9	12.8	2.7	1.9	3.7	17.0	5.2
農畜産缶詰(%)	▲20.9	▲6.6	▲15.7	23.1	▲24.1	▲19.4	▲21.0	16.4	▲0.1
飲料缶生産高(千ケース)	6,943	6,593	4,946	5,202	6,976	7,891	7,820	8,765	8,637
前年同月比(%)	▲15.5	▲10.2	▲14.3	▲26.9	▲18.6	▲9.6	▲15.6	▲3.7	▲3.5

### <繊維>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
広幅織物(千㎡)	1,580	1,535	1,443	1,508	1,519	1,519	1,222	1,225	1,149
前年同月比(%)	▲4.7	▲5.4	▲11.6	▲5.3	▲3.7	▲1.7	▲2.8	▲0.6	▲1.7
小幅織物(千㎡)	36	37	36	38	38	39	40	38	36
前年同月比(%)	▲23.5	▲21.1	▲3.7	6.3	▲1.7	10.4	6.3	▲3.9	▲8.9

### <観光>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
観光施設(10施設)入込 (千人)	401	218	252	244	470	442	671	344	304
前年同月比(%)	▲2.4	▲16.3	▲11.5	30.4	27.5	▲31.9	▲25.1	▲22.6	16.6
有料道路(5路線)通行量 (千台)	696	674	623	606	762	650	717	624	709
前年同月比(%)	16.5	18.0	15.2	17.3	0.0	▲3.1	▲5.9	▲0.7	1.0

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標  
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・百貨店販売額	・産業用大口電力消費量	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・雇用保険受給者実人員	・消費者物価指数
・自動車新規登録台数	・鉱工業在庫指数	・完全失業率	・県内金融機関貸出残高
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・信用保証協会保証金額
・清水税関支所管内輸出額			・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸入額			

### 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

### 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
消費者物価	総務省統計局	<a href="http://www.stat.go.jp/">http://www.stat.go.jp/</a>
家計調査		
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告  
平成27年9月号 通巻473号

発行 静岡県経済産業部  
平成27年9月

編集 経済産業部管理局政策監  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6  
TEL 054-221-2635  
FAX 054-221-3217  
E-mail [keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)  
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>